

平成 30 年度

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

【自己点検・評価および学校関係者評価報告書】

平成 31 年 3 月

学校法人爽青会

専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー

自己点検・評価委員会／学校関係者評価委員会

1 本校の概況

1. 設置者 学校法人 爽青会 理事長 中野勘次郎
2. 学校名 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミー
3. 校長名 中野勘次郎
4. 認可 平成7年3月20日
5. 開校 平成7年4月1日
6. 所在地 〒430-0943 静岡県浜松市中区北田町 130-12 (TEL) 053-452-2121
7. 課程 文化・教養専門課程／衛生専門課程
8. 学校の沿革
 - 平成7年3月 専修学校制度に基づき、専修学校の認可を受ける
 - 平成7年4月 専門学校ルネサンス・アカデミー オブ デザイン開設
 - 平成17年4月 専門学校ルネサンス アカデミーに校名変更
総合デザイン学部・動物関係学部を開設
 - 平成20年3月 学校法人爽青会 認可
 - 平成21年4月 専門学校ルネサンス・デザイン アカデミーに校名変更
 - 平成26年3月 設置4学科で職業実践専門課程認定
 - 平成27年4月 イラストレーション科、広告・写真・Web デザイン科で3年制課程開始
 - 平成28年4月 衛生専門課程 美容師科開設

9. 校訓

Every dog has his day. (みんな輝く学校になる)

10. 教育目標

日本人ならではの徳性・新旧の美意識と接客から学び、日本流・新デザインを世界に問う

重点項目

- ・チーム力は無限大の浸透・・・各科信頼感の再醸成、優位性の再確認とアピール
- ・年齢相応の力量発揮・・・チーム力の課題克服、個別事情への雇用対策
- ・「語る」「気づく」「繰り返す」・・・教職員自身の気づきと語り方の変容
- ・核となる「3年制」の理想の進化・・・リカレント、就職先産業界の未来像、No.1企業との接触
- ・入学者増員対策・・・学科選択の基準明確化、優位性アピール、スター在校生プロジェクト
- ・初認職員の教育充実・・・新入社員教育の原則とマニュアル、新カリキュラムによる教育
- ・各種人材強化および力量の早期発揮・・・GD系1名採用、HD系2名の自立、研修の充実
- ・改良したIL/AP科の共有、信頼感・・・新教育コンテンツの実施改良、GD系教員採用
- ・BT系 チーム信頼感と協力体制・・・HD科教職員の面談再教育、職務分掌見直し等

11. 設置学科

イラストレーション科 (昼3年 男女 定員40名)

広告・写真・Webデザイン科 (昼3年 男女 定員40名)

ブライダル・トータルビューティー科 (昼2年 男女 定員40名)

美容師科 (昼2年 男女 定員30名)

マスター科 (昼1年 男女 定員5名)

- 12. 学生数 (平成 31 年 2 月 1 日現在) 163 名
- 13. 教職員数 (平成 31 年 2 月 1 日現在) 19 名
- 14. 学校建物面積 2115 m²

2 自己点検・自己評価委員会

1) 委員名簿

1. 学校長 中野勘次郎（委員長）
2. 本部長 中野祐子
3. 教務部 前田健一
4. 教務部 竹田侑里
5. 教務部 大城陽功
6. 教務部 杉浦英樹
7. 事務局 林千洋

監査委員

1. 顧問 田中克己
2. 理事長代理 中野良太
3. 専門学校ルネサンス・ペット・アカデミー教頭 藤原研一

2) 自己点検・自己評価制作の流れおよび委員会開催記録

- 平成 30 年 11 月 5 日 自己点検・評価委員会 説明会
平成 30 年 11 月 6 日 自己点検・評価委員会 第 1 回会議
平成 30 年 12 月 25 日 自己点検・評価委員会 第 2 回会議
平成 31 年 1 月 26 日 自己点検・評価委員会 内部監査
平成 31 年 1 月 31 日 設置者への報告
平成 31 年 2 月 15 日 学校関係者評価委員会
平成 31 年 3 月 2 日 学校法人爽青会理事会報告
平成 31 年 3 月 8 日 第 1 回講師会にて共有
平成 31 年 3 月 29 日 ホームページにて外部への公開

3 学校関係者評価委員会

1) 委員名簿

1. 安倍 徹 アン・ランゲージ・スクール校長／元静岡県教育長
2. 安武 伸朗 UX (User Experience) Shizuoka 代表
常葉大学教授・キャリアサポートセンター長
3. 原 大二郎 公益社団法人日本動物病院協会 監事／家庭動物診療施設獣徳会 会長
4. 坂元 祥彦 一般財団法人動物看護師統一認定機構 業務執行理事

2) 開催日・場所

- 平成 31 年 2 月 15 日 学校法人爽青会 本部館 202 教室にて開催

4 評価一覧

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価	
1 ・ 目 標 教 育 理 念	1	理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4
	2	学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか	4	4
	3	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	4
	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4
	5	理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	4
2 学 校 運 営	1	専修学校設置基準及び職業実践専門課程の認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	4
	2	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	4
	3	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	4
	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	4
	5	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	4
	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	4
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	4
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	4
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	4
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	4
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	4
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	3.25
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	4
3 教 育 活 動	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	4
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	3
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	4
	4	デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	3.25
	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	4
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	3.5
	8	デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	4
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	3	3.75
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て（スケジュール管理）が明確になっているか	4	4
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	4
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	4
	13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	4
	14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	3
	15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	4
	16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	4
	17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4
	18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	3
	19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	3
	20	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	3	3.25
	21	デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	2.75

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検 自己評価	学校関係者 評価
4 学 修 成 果	1 学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	4
	2 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	4
	3 評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	3.5
	4 学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	4
	5 成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	4
	6 ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	4
	7 学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	4
	8 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	4
5 学 生 支 援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	4
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	4	4
	3 保護者と適切に連携しているか	4	4
	4 社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	3.25
	5 卒業生への支援体制はあるか	3	3.25
	6 図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	4
	7 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	4
	8 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	4
	9 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	4
	10 学生の生活環境への支援は行われているか	4	4
	11 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	4
6 教 育 環 境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	4
	2 学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか。	3	3.75
	3 教職員に対して、学習指導のための教育訓練や安全管理のための避難訓練を実施しているか	4	4
	4 防災に対する体制は整備されているか	4	4
	5 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	4
7 学 生 の 受 入 れ 募 集	1 学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	4
	2 履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	4
	3 学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	4
	4 学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	4
	5 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	3.5
	6 評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	4
	7 学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	4
	8 教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	4
	9 学納金は妥当なものとなっているか	4	4
	10 志願者状況、定員充足率はどうか	2	2.5
質 保 証 教 育 の テ ム 部	1 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	4
	2 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	4
	3 文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	2.25
	4 自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	3
	5 監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	4
	6 内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	4
	7 内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	3
	8 自己点検・評価結果を公開しているか	4	4

評価項目《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》			自己点検 自己評価	学校関係者 評価
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	3.25
	4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	4
域 貢 献 ・ 社 会 地 区	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	4
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	4
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	4
交 流 国 際	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	—	—
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	—	—
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	—	—
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4

5 評価の理由とコメント

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
1 教育 理念・ 目標	1	4	理念・目的・育人人材像は毎年検討・更新され、教職員は原点確認研修資料、学生は学生必携にて周知している。	4	教育目標は充分表示されていると考えますが、育人人材像に関して、抽象度が高く、学生・保護者・社会の理解のしやすさの観点で工夫が望まれる（安武）学生必携が正しく活用されている（原）
	2	4	学校関係者評価委員会や教育課程編成委員会、またインターンシップ等における職員の企業訪問やイベント視察を通じて、業界の動向・ニーズを調査している。	4	人物評価に加えて業界全体の課題や潜在的なニーズ（期待）などを調査できるとさらに望ましい（安武）
	3	4	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	教育課程編成委員会や学校関係者評価委員会で得た意見を基に、教育運営計画を立てシラバスを作成している。
	4	4	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	デザイン・ビューティー系の職種として実践教育を展開する学科を4つに分類して運営している。
	5	4	理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4	オープンキャンパスや保護者説明会、入学式後の説明会、オリエンテーションにて複数回説明の場を設定し周知している。

① 課題

教育理念等は明確に定められ、文書等で教職員並びに学生・保護者に適切に提示し説明している。

② 今後の改善方策

継続実施する。

③ 特記事項

爽青会オリジナルの人間力向上授業「ルネサンス・メソッド」を2017年度から運用中。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価	
		評価	評価の理由	評価	コメント
	1	4	必要に応じて学則変更を適宜実施し、専修学校設置基準及び職業実践専門課程認定要件に沿った適切な運営がなされているか	4	
	2	4	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	就業規則内で定める運営組織や意思決定機能を校務分掌に落とし込み、適切に機能させている。
	3	4	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	財務は経理規定で、教務に関しては主として教務部会の形で、意思決定システムを整備している。
	4	4	目的等に沿った事業計画が策定されているか	4	事業計画策定は理事会・評議員会にて適切に行われている。
	5	4	事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	毎年反省・見直しを実施し、学校長の承認を経て運営方針を策定している。

2 学 校 運 営	6	人事、給与に関する制度は整備されているか	4	人事制度マニュアルにて整備している	4	さらに、「成績書～評価マトリクス」との一貫性が生まれれば、業務が単純化できるような感覚がある（安武）健康管理面も含めた人事管理を（安部）人事労務改善中、フレックス（坂元）
	7	教職員と非常勤講師等との定期的な情報共有を図っているか	4	年2回の講師会全体会にて意思統一を図り、分科会にて学科ごと情報共有の場を設けている。毎授業ごと授業報告書にてリアルタイムな共有を図っている。	4	定期開催ができています（原）
	8	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	苦情等に対する対応マニュアルが作成されており、対応を記録するノートで事例を共有できるよう取り組みが行われている。	4	
	9	教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	職業実践専門課程認定条件に準拠した情報を公式ホームページにて公開している。	4	
	10	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	学内グループウェアの活用ならびにサーバ管理システムにより、業務効率化が図られている。	4	
	11	教育方針や目標を含むマネジメントシステムの継続的な適合性、妥当性、有効性を確保するためにマネジメントレビューを実施しているか	4	月に1回の経営会議内において、教育の現状把握・分析とともに学校運営の仕組みそのものについても見直しを図っている。	4	
	12	学生や保護者、その他利害関係者からの苦情・要請等への対応など、不適合を特定し、対処する手順（予防処置及び是正処置）を確立しているか	3	予防措置及び是正措置規定は作成されているが、全職員への徹底に不足がある。またクレームノートに記載された内容に対する対応手順についてはまだ確立されていない。	3.25	ハラスメント対応のフローチャート等を、マニュアルよりも簡便に作成してはどうでしょうか（安武）学生・保護者一人一人の訴えにより細かく対応を。手順はフレーム的なものでいいのでは（安部）今後の社会情勢に合わせた対策を（原）
	13	利害関係者が不満を抱いている場合や、利害関係者と学校側とで意見の相違がある場合の相談受付方法を案内しているか	4	相談受付方法は学生必携に明記し、オリエンテーションにて周知している。また、ホームページに問い合わせフォームを設置し、学外からの相談窓口も設置している。	4	

① 課題

学外の利害関係者からの苦情・要請に対して、その規定は作成されているが、対応手順の確立までには至っていない。

② 今後の改善方策

新職員も含め是正処置及び予防処置規定について説明を行い、苦情・要請についての事例・対応・効果についての記録を継続してゆく。

また教務部会等で定期的に回覧を続ける。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
3 教育 活動	1	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4	左記内容を2段階で明確にしている。学科の教育達成レベルは教育目標である「学科の使命」で。各授業の到達レベルと学習時間は学生必携にて明記し、学生達が常に確認できる環境も作られている。	4	
	2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	3	教育課程編成委員会や企業訪問を通じてキャリア教育や職業教育への工夫は検討されているが、授業スキル向上に向けた取り組みは今後の重点課題である。	3	学内教育手法⇔学外での評価を受けることで、教員の教育内容の進度が増すと思う(安武) 授業見学会検討中(坂元)
	3	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4	本校の教育理念を基に年度毎の振り返りを会議し、学科の実施方針を策定している。本校は、理念を軸とし時代のニーズと業界の動向の3つの視点で学科方針を決定している。	4	
	4	デザイン・ビューティー関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	年2回行われる教育課程編成委員会での意見聴取を始め、インターンシップや企業訪問、各研修で得た情報を年度毎、早ければ「期」毎に作成・見直しを行っている。	4	
	5	資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3	カリキュラム内での位置づけや指導体制は、毎年度改善と見直しが行われている。今後合格率の向上を目的に、協会認定の指導者派遣や、検定学習時間の確保を進める。	3.25	資格指導体制(坂元)
	6	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	教育目標と学習習得ステージを基に、専門講義科目、専門実習科目、一般科目に分類し、実習と講義のバランスがとれたカリキュラムを編成している。	4	人物像(人材像)との関連付けて判断した方が良いように思う(安武)
	7	Can-Doを意識した各科目の授業シラバスが作成されているか	3	Can-Doを意識したシラバスは作成されているが、家庭での学習時間明記など、一部改善が必要である。	3.5	シラバス・Can-Doの教育目標=評価項目(内容)との関連性が必要かと思う(安武) 家庭での学習時間まで明記する必要があるか(安部)
	8	デザイン・ビューティー関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4	実践的な職業教育として、本校ではインターンシップ、企業コラボレーション、外部イベント、各種研修(国内外)を学生レベルと時期を考え実施している。	4	
	9	シラバスあるいは講義要項などが事前に学生に配布されているか	3	年度始めのオリエンテーションにて配布しているが、変更する場合や授業同士の連携が必須な科目のシラバスは、口頭での伝達もある。その点を今後は改善していきたい。	3.75	口頭またはメール(サイト)でも十分か(安武) 細部にわたり改善策を認知していることが優れている(原)
	10	実習室等の学校施設、設備の利用割り当て(スケジュール管理)が明確になっているか	4	授業名、担当者、使用学科が分かる様、タイムテーブルにて一覧表にし、講師会資料等で共有している。また、デスクネットを通し、常に管理している。	4	
	11	学生によるアンケートなどで、適切に授業評価を実施しているか	4	各期ごとに行われている授業アンケートを通じて、授業内容・指導方法・使用教材などを評価・検証している。	4	
	12	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4	学生必携にて、成績評価、単位認定および進級規程等が明確に記載され周知されている。	4	

13	職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	教育課程編委員やインターンシップ受け入れ企業への訪問や実習評価表への評価を受け、その後の学生指導やカリキュラムの編成に活かしている。	4	
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	3	学生を対象とした授業アンケートは実施しているが、教員相互に授業見学を行っておらず、今後設けていく。	3	実際は、持ち時間数の関係～見学後のフィードバック～自己評価～相互評価の仕組みは大変難しいと思う。シラバスチェックの方が簡便で一定の効果が上がるか（安武） 授業見学会後の授業研究会の開催を（坂元）
15	閲覧権限の設定がなされ、個人情報保護への配慮がされているか	4	就業規則や講師契約書に個人情報の保護に関する規程を設け、またデータ等はアクセス制限を設け個人情報保護に配慮している。	4	
16	教育の質向上に役立つ改善点を明確にするために、教育を提供している状況（学習環境等）を確認・検証しているか	4	講師の意見を授業報告書から、学生の声を授業アンケート等から集め、定期的開催する教務部会や学科会議、講師会で学習環境等の確認を確認・検証している。	4	
17	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	確保している。その要件を備えている事を確認するため、職務経歴書や各種研修の参加、学生からの授業アンケートからのコメントで把握している。	4	
18	教職員のコンピテンシーを職務記述書と関連付けながら評価し、それらの評価結果を記録しているか	3	教職員の評価は、年2回「行動評価」として記録している。しかし、在職年数で変化するコンピテンシーが職務証明書に落とし込まれていない。	3	
19	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3	一部学科に於いて指導力育成に向けた研修を行っているが、まだ全校的な取り組みにまでは至っていない。	3	FD,SDの視点は大変重要かと思うが、トップダウンのテーマ設定と、ボトムアップ（自己研鑽）の双方が重要か（安武）
20	職員の能力開発のための研修等が行われているか（研修等の効果を評価し、文書により記録しているか）	3	能力開発のための研修は実施されている。しかし研修効果に対する評価・記録が存在していない。	3.25	研修効果の評価は難しいと思うが、具体的な企画計画（簡単なもの）にまとめる方がわかりやすいか（安武）
21	デザイン・ビューティー関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	2	業界を牽引する人物との接点は昨年度に比べ増加しているが、人材の紹介・確保に至るまでの連携は取れていない。	2.75	業者の利用等もあり得るのではないか（安武）

① 課題

最新の業界動向や技術に関する職員の知見を広げるため定期的な視察・研修が必須であるが、それが年間計画として取りまとめられていない。

② 今後の改善方策

次年度に向け、各職員の適性・職性に合わせた研修計画を立て、その研修成果を測ることが出来る体制づくりを行う。

また業界団体・企業との連携強化を行い、教員の紹介や提供を受けられる関係は現在取組中である。

③ 特記事項

特になし

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
4 学 修 成 果	1	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか	4	成績表は各科目のA～D評価に加え、授業を横断した能力別マトリクス評価を実施し、多角的に評価している。また、修了、卒業時には、学生の進路と合致した審査員を招き、担当者と共に能力の判定を実施している。	4	年次ごとの「〇〇ステージ」が定められていることが分かりやすいと思われるが、「育成人材像」と関連付けられると尚、明快になると思われる（安武） 成績評価の表記を検討願います。マトリクス評価は企業にも発表されては？（坂元）
	2	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	在校生は、インターンシップや企業コラボレーション、ボランティア等の課外活動にて把握している。また卒業生は、職員による企業訪問活動、SNS等を通じ把握に取り組んでいる。	4	
	3	評価目標ならびに想定される評価範囲を記述できているか	4	科目ごとにシラバスにて記述されている。到達目標が段階的に項目分けされており、評価範囲が理解できるように記述されている。内容について、講師と職員間で意見交換し、年度毎に見直している。	3.5	シラバス・Can-Doの教育目標＝評価項目（内容）との関連性が必要かと思う（安武） 評価範囲は学習成果だけでなく、学校運営に関するすべての評価を指す（坂元）
	4	学生の評価だけでなく、教職員やカリキュラムの評価も含め、評価方法及び手段、スケジュール及び根拠を記述しているか	4	学生への「授業アンケート」「学校満足度調査」や教育課程編成委員会にて、教職員やカリキュラムの評価を行っている。評価方法は、講師会にて書面化し、非常勤を含め全職員で共有出来ている。また、授業報告書をもとに必要に応じた対面での話し合いを講師間で行っている。	4	
	5	成績証明書等、評価結果が社会的通用性を高める形式となっているか	4	成績評価項目は、専門性においては、業界で必要とされる最も基本となる項目を厳選し、社会性においては、ビジネス能力や対外活動記録を用いることで、各人の技能と人間力を共に示すことが出来ている。	4	
	6	ニーズ調査結果に基づき目的（到達目標）を設定し、目的に対する評価を結論としてとりまとめた評価報告書を作成しているか	4	教育面、進路指導の面ともに、講師会や教育課程編成委員会などで、数値データをまとめた資料を以て報告書としている。	4	ニーズ？とは主体者は誰なのか？がわかりにくくて回答が合っているかどうか不安（安武）
	7	学習サービス（教育・訓練）を受託または委託する場合、目的、要望、最終目標及び要件を明確にしているか	4	明確にしている。授業目的や最終目標は講師会にて書面提示し共有検証も図っている。またインターンシップでは、学生の評価項目を事前に提示し、終了後に評価を受けている。	4	
	8	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4	各学科、年に数回卒業生講話を実施し、その際に出た実情やヒアリングをもとに、在学中に学ぶべきことを精査している。また、企業訪問を行い、卒業生に対する企業側の意見を招集し、教育活動の改善を図っている。	4	卒業後のキャリア＝メンター＝卒業生という関連性は大変分かりやすい（安武）

① 課題

特になし

② 今後の改善方策

特になし

③ 特記事項

卒業生の状況把握は、近年増えつつある大都市圏での就職を鑑み、企業訪問活動などはエリアを拡大していく必要がある。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
5 学生 支援	1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4	学生必携にて就職活動の支援体制について説明し、就職セミナーやインターンシップなどの支援行事を実施している。また、就職状況に関しては定期的に会議を開催し、情報共有を図っている。	4	
	2	学生相談に関する体制は整備されているか	4	クラス担任との個別相談や就職担当との就職相談、面接指導などに加え、学校カウンセラーによる相談も行っている。	4	
	3	保護者と適切に連携しているか	4	授業参観、個別面談を実施し、日頃の学習状況への理解、共有を図っている。また、就職に関しては、就職保護者会を通じ、学校と家庭との連携を密にし、ミスマッチのない就職指導をしている。	4	
	4	社会人学生のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3	社会人の受け入れは行っているが、社会人特有のニーズに対応した教育環境は整備されていない。	3.25	人物像-人材像の観点では、接統性（ニーズの読み取り）は適切とはいえないかもしれない（安武） ニーズが具体的に何なのかを把握したうえでの対応になると思う（安部） 文部科学省の求める学びなおしとは違うので良くできていると考える（原） 社会人のとらえ方（坂元）
	5	卒業生への支援体制はあるか	3	卒業生加入の校友会組織、卒業生向けFacebook、LINEなどにより卒業セミナー等の告知、卒業生対象の学校求人紹介などを実施しているが、周知徹底できておらず支援体制としての確立が不十分である。	3.25	支援の目的（事業目的-社会的役割）とそのための体制づくりの最適解（バランス、実現可能性）があるか（安武）
	6	図書室・図書コーナー等、ホットライン、カウンセリングサービス、コンピュータの利用、メンタリングなどの学習サポートについて案内しているか	4	学生が利用できるPC等学内施設、ネットワーク環境やカウンセリングサービスの活用の為の説明をオリエンテーションで案内している。	4	
	7	学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	優遇制度により学生を顕彰するとともに、学生課により奨学金の案内や教育ローン、学費サポートプランなど学生、保護者ともに案内している	4	
	8	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	学生健康診断を年度当初に適切に実施している。メンタルケアに関しては、学生相談室を学外に設け、対応を行っている。	4	
	9	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	企業とのコラボレーションによる商品開発、デザイン提案や自治体、各種団体との地域発展に向けての取り組みを行っている。	4	
	10	学生の生活環境への支援は行われているか	4	定期的に学生との個別面談を実施し、学生の生活環境を聞き取り、必要な助言を担任や学科長等から伝えている。	4	
	11	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	高校内で実施される職業説明会等への参加や提携授業を実施し、高校でのキャリア教育との連携、協力を図っている。	4	実績があることで評価できる（安武）

① 課題

卒業時に校友会等の案内の徹底等、卒業生との連絡手段の構築はできつつあるが、継続支援するためのシステム化までは至っていない

② 今後の改善方策

卒業生リストのデータ化と管理を徹底し、再就職や卒業教育などの情報提供を行うことができる共通フォームを構築と担当者決めをする

③ 特記事項

本校HPを利用した卒業生への情報提供手段を検討中である

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
6 教育 環境	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応でき るよう整備されているか	4	各教室ごとに教室管理・火元管理責任者 を定め、各教室の適切な維持管理と既存 設備の保守点検を実施している。	4	
	2	学校施設・備品等が定期的に管理・点検され ているか。	3	安全確保のための定期点検・修繕は継続 的に行われているが、一部で部品の欠品 により修理が実施されていない箇所があ る。また物品チェックリストが一部更新 されていない。	3.75	定期的な管理が行われていることが評価 項目かと思う（安武） 学生のいのちを 守る視点からの管理をお願いしたい（安 部） 安全上問題がない箇所と思われる （原）
	3	教職員に対して、学習指導のための教育訓練 や安全管理のための避難訓練を実施してい るか	4	地震を想定した避難訓練は実施されてい る。加えて2016年度よりシェイクアウト 訓練を実施し、有事の際の対応力を強化 している。	4	
	4	防災に対する体制は整備されているか	4	災害備蓄品の備え、学生避難訓練を毎年8 月に実施。静岡県の防災方針改定に伴 い、防災マニュアルを2018年度に作成 し、運用している。また、防災委員を各 クラスに任命し、消火ならびに救命訓練 を行っている。	4	
	5	学内外の実習施設、インターンシップ、海外 研修等について十分な教育体制を整備してい るか	4	インターンシップや国内研修、海外授業 など、学外で行われる教育活動の前には 直前セミナー等を実施し、安全な実習が できるよう指導している。	4	

① 課題

学校施設・備品等は定期的に管理・点検されているが、物品のチェックリストが作成されていない。

② 今後の改善方策

学内設備・備品の管理・点検システムを制度化する。また、設備修繕が難しいものについては、新規に施工するなど、施設老朽化への対策も制度化する必要がある。

③ 特記事項

デザイン校として授業外での教室・設備使用の頻度が高いため、環境維持の為に管理・点検する仕組みを定着させる。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
7 学生 の 受 入 れ 募 集	1	学生募集活動は、適正に行われているか（例えば、入学願書などの契約書を取り交わし、それらの文書を適切に管理しているか）	4	募集要項にて入学までの流れを明示。AO・推薦・一般入試ともに、入学願書の提出を必須とし、その他出願資料と合わせて適切に管理している。	4	
	2	履歴書（学歴、所有資格など）を適切に入手し、適切な管理を行っているか	4	受験時に入学願書、その他出願書類を提出させている。またそれら個人情報は入学後、カギのかかる部屋で適切に管理している。	4	
	3	学校案内等には選抜方法など、入学に必要なスキル、資格、職業経験などの、前提となる要件が明示されているか	4	募集要項を作成し、入学資格及び受験方法を記載し、適切に周知を図っている。	4	
	4	学校案内等に、学費、受験料、学習教材の購入費等が明示されているか	4	募集要項内に学費や補助活動費等の一覧及び、納入期限等を明示し、受験者及び保護者に卒業までに必要な学費が正しく理解されるよう配慮している。	4	
	5	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	学校案内を作成し、教育概要を伝えつつ、就職内定速報等を作成し、教育成果の発信に努めている。ただし、その手法や頻度については改善の余地がある。	3.5	「正確な伝え方」という評価では、課題はないのではないかと。競合他校（他機関）との比較において課題はあるのか？（安武）
	6	評価手段及びその基準、修了時に発行される証明書等について説明しているか	4	学生必携において、学校から発行される証明書の種類や手続き方法などを記載し、オリエンテーション等で説明している。	4	
	7	学力の不足や障がいに関する特別なニーズを特定しているか	4	入学試験において、履修上、就職上支障となる志願者の事情を確認し、履修に不具合がないように受け入れている。	4	
	8	教育の履行、人的・物的資源の提供、個人情報の取り扱い、安全管理など、学校側の義務と責任を学生と保護者に案内しているか	4	オープンキャンパス時、入学直後の保護者説明会、在学中も年1～2回の保護者説明会にて、学校の組織等を説明している。	4	
	9	学納金は妥当なものとなっているか	4	学校生活に必要な金額を計算し、請求している。補助活動費には明細を添付し、使途不明金がないようになっている。	4	
	10	志願者状況、定員充足率はどうか	2	定員及び目標数に届いていない。	2.5	充足率によって評価が定まるか（安武） 説明にあった小中学生への啓発など息の長い対策が必要か（安部）

① 課題

入学者数の確保が課題である。

② 今後の改善方策

高校1、2年生や中学生の提携授業、職業教育のための総合学習の受入れ等、低学年から本校に興味を持ってもらうための講座にも力を入れる。
それと同時に、中・長期計画として学校のブランディングを実施する。またSNSのより積極的な活用を2019年度に向けて計画中である。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
8 教育の 内部 質 保証 シ ス テ ム	1	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	就業規則内に機密保護管理規定を設け、個人情報保護に努めている。	4	
	2	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	教員数、教室数、学生管理等、専修学校設置基準に準拠した運営を実施している。	4	
	3	文書管理規程、文書管理リスト（ファイル管理簿）ならびに決裁の流れを含む決裁規程（文書処理規程）が文書化されているか	2	機密保護管理規定としての明文化はなされているが、文書管理規定・文書管理リストが文書化されていない。	2.25	実態として問題はないが、発信規定・廃棄規定を設けるのみとらえた（安武）1年間かけて各分掌からの文書のリスト化、管理の度合いを収集すれば、作成できるか（安部）要改善（坂元）
	4	自己点検・評価や内部監査の実施と問題点の改善に努めているか	3	自己点検非担当者による内部監査を実施し、自己点検・評価の問題点等の改善を抽出しているが、昨年指摘事項のすべてが改善されていない。	3	改善計画について単年度～複数年度に関する計画を取り決める方が良いか（安武）報告書のフォームを検討（坂元）
	5	監査や評価基準の知識を有する適任者により適切に監査され、当該課程・部署の責任者に監査結果を報告しているか	4	研修修了者による監査を実施し、責任者に対して結果の報告を行う体制を整えている。	4	
	6	内部監査での指摘事項として、改善すべき点を明確にしているか	4	内部監査により、指摘事項や改善点は明確になっている。	4	
	7	内部監査の結果を受けて取られる処置が、適切な時期及び適切な方法で実施されているか	3	前回の指摘事項であった文書管理規程や文書管理リストは、現在作成中であり、まだ完成に至っていない。	3	
	8	自己点検・評価結果を公開しているか	4	公式サイト内、学校情報ページにて過去のものも含めて公開している。	4	

① 課題

文書管理規定が作成中となっている。また、監査体制は整備され改善点を明確にしているが、改善するところまで至っていない。

② 今後の改善方策

監査で指摘されたことを改善する担当者を明確に決め、関係者間で共有する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
9 財務	1	財務について会計監査が適正に行われているか	4	月次レベルで第三者の公認会計士に、年度末決算時にも同様にチェックを受けている。また、5月の理事会にて監事二名による監査も受けている。監査報告書として文書で記録している	4	
	2	財務情報公開の体制整備はできているか	4	決算後、財務状況（B/S,P/L）を公式ホームページ内学校情報ページにアップしている	4	
	3	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	短期的には、資金面、収入支出面、銀行との信頼関係は安定している。しかし、中長期的にという観点では、財務基盤は安定しているとは断定できない。競合校との明確な差別化、ルネサンスのブランドが何かを今一度明確にする必要がある。また、新たな商圏の開拓、顧客層拡大、新規事業の検討などの対策をこうじる必要もある。	3.25	社会情勢～教育（専修学校）に関する傾向や分析が（評価のためには）必要か（安武）

4	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	収支計画、予算の策定など有識者による助言をもとに適切に作成し、実行している。無借金経営も継続中である。	4	
---	--------------------------	---	---	---	--

① 課題

会計監査、財務情報公開は適切になされているが、中長期的に見ると、財務基盤の見通しが明るいとは言えない。

② 今後の改善方策

小・中学生の提携授業、職業教育のための総合学習の受入れ等、低学年から本校に興味を持たせるための講座にも力を入れ、本校認知度をUPさせ入学者数を増やし、長期的に安定した在籍数を確保する。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
10 社会 貢献・ 地域 貢献	1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4	地元中高生の職業体験の受け入れや有名イラストレーターの特別授業を一般にも公募したり、企業コラボレーションを通し、地元企業との取り組みを実現し定期的に開催している。	4	
	2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	全学科にて、町おこしにもつながる地域・社会貢献と、人のために学んだ技術を使うという教育的観点の双方で、実になる活動を紹介、支援している。	4	
	3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4	地域の学校からの教育訓練依頼を積極的に受け入れ、地元中高生向け職業理解教育に貢献できている。またデザイン・イラストコンペを通じて、若者の美術教育に貢献している。	4	

① 課題

社会貢献・地域貢献に対し、全ての学科において「企業コラボレーション」としての取り組みは多いが、ボランティアと公開講座の割合は減少傾向にあり、社会人向けとなると限られた数になってしまう。

② 今後の改善方策

教育施設の見学会や体験授業、商業施設でのものづくり体験などを継続的に実施しつつ、今後のデザインビューティー業界を担う児童生徒のキャリア教育において、導入的役割を果たす。

③ 特記事項

特になし。

評価項目 《適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不適切…1》		自己点検・自己評価		学校関係者評価		
		評価	評価の理由	評価	コメント	
11 国際 交流	1	留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	-		-	
	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	-		-	
	3	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	-		-	
	4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	海外授業において、現地職業訓練学校との共同デザイン授業や学生の作品に対する評価を受けている。また現地学校での授業履修なども行っている。	4	

① 課題

特になし。

② 今後の改善方策

特になし。

③ 特記事項

特になし。